

ひがし

No. 244

'56 3 / 20

広報

しらかわ

人口の動き

— 2月末住民登録人口から

世帯数	941世帯
人口	3,775人
転入	19人
転出	9人
出生	3人
死亡	5人

先月と比較して8人増
昨年と同月と比較して61人減

■ 発行 岐阜県加茂郡東白川村 ■ 編集 / 総務課 ■ 印刷 / 関市中部印刷

たこたこ 上がり

3月7日、東白川小でたこ上げ大会が行われました。各クラスから選ばれた代表のこどもたちは、自作のたこを手に広いグラウンドをかけまわっていました。

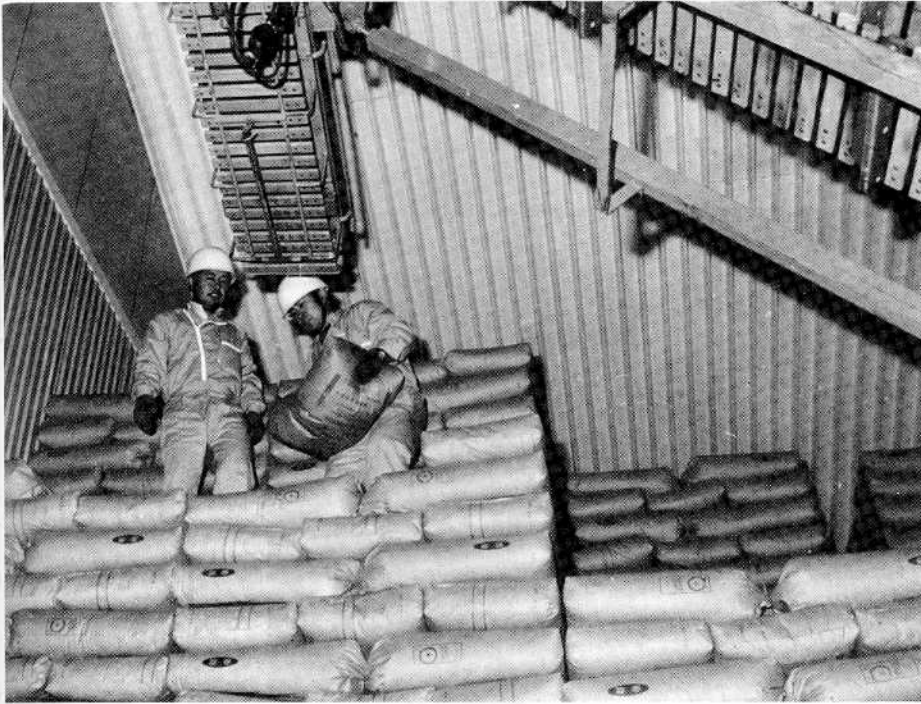
— クラスメートの応援を受け、たこ上げするこどもたち。東白川小グラウンドで。

おもな内容

- 水田再編第2期対策がスタート……P 2～3
- 各種施設次々と完成……P 4～5
- 東白川小学校校体育館が完成……P 6～7
- 老々連、白川町と交歓会……P 8
- ことしは国際障害者年……P 9
- ミニゲレンデで楽しむスキー……P 10
- 村誌編さん室だより……P 11
- トピック……P 12
- けいじ板はP 6～7の下欄



『米づくり』さらに厳しく



本村への割り当ては34ヘクタールに

水田利用再編対策 第二期がスタート

昭和五十三年にスタートした、水田再編対策事業の第一期は昭和五十五年度で終わりました。この事業での本村の割り当ては、当初十六戸であったものが、手直しにより三年目には二十二戸に増えましたが、農家のみなさんのご理解とご協力により、目標を達することができました。しかし、依然として米の需給は過剰であり、国全体の農作物の需要と長期見通しにたつてのさらに厳しい第二期対策が、昭和五十六年度から実施されることになりました。本村への割り当ては三十四戸。立地条件などの面からみても実に厳しいものです。とはいえ、農業が主軸の産業である本村にとって、この厳しさを乗り越えて新しい視野での農業の将来をみつめることが今こそ必要です。転換を迫られる「米づくり」を村ぐるみで考えてみましょう。

農協の米倉庫へつぎつぎと積み込まれる政府買い上げ米

転作面積は 同じ割合で

水田再編第二期対策は、ひと口において昭和五十六年度から五十八年度までの三年間に、本村内の水田面積のうち三十四戸を転作するということです。

農家のみなさんは、パンフレットなどでご存じのことと思いますが、すでにこの事業を進めるにあたっては、村内各層、各団体などの代表者で組織する「村づくり推進協議会」で検討され、基本方針が作成されています。それによりますと、米の過剰原因は水稲が作付けされる

すべての水田にある——。という考え方から、転作面積は昨年十二月、農家のみなさんから届け出のあった水田面積をもとに、一律同じ割合で計算してあります。

みんなで協力 必ず達成を

本村へ割り当てられた転作面積が未達成の場合、県から翌年分に未達成面積分が加算されて割り当てられます。と同時に、米の政府買入れ限度数量が減らされます。

これは、米の生産調整を推進するという国の農業施策によるもので、未達成面積のある町村に対しては、農業振興上の各種施策が適用されません。

万一そうした状況になった場合は、現在村が進めている村づくり計画推進の大きな障害となるばかりか、当面の農道整備や各種施設の整備など、みなさんの日常生活にも支障が生じてきます。

そうしたことにならないよう、みんなで協力して転作面積を達成したいものです。

米にかわる収益 を夏秋ナスで

前にも述べましたが、第二期対策によって転作を余義なくされている現実には厳しいものですが、前向きな姿勢でこれからの農業に取り組みなければなりません。

農協では、村の協力を得て夏秋野菜で米にかわる収益を——。と、夏秋ナスを中心とする夏秋野菜を転作作物とし



夏秋ナスを中心とする夏秋野菜の育苗作業もことしはいっそう忙しくなりそう
(昨年の作業風景・陰地松岡勝さん宅の育苗ハウスで)

て推進することになりました。夏秋ナスを選んだ理由には▽本村のナスは、先駆農家の努力で市場での品質が高いこと▽気象条件が秋冷で、優秀なナスが生産される▽国の主要作物指定産地で、価格安定基金制度に加入して価格支持がある▽村、農協、生産者が一体となり平均払い制度を考へ、収穫期間中の所得が安定さらには初めて栽培する農家でも腰をおちつけて取り組めば定着できる——などです。

飼料や桑 大豆栽培も

そのほか、土地を有効に利用するため、畜産農家と手を組んでの飼料作物、たとえばソルゴー・トウモロコシなどの栽培や大豆の栽培、桑つくりなどが推進されることになっています。

桑は、養蚕農家にとって必要不可欠のもので、現実には他町村から桑の葉を買ってきている農家がほとんどのようです。そうした意味からも、有効利用の手段としてもってこいといえそうです。

転作による奨励金もほとんど該当しますから、安心して転作することができます。

互助制度で 集団転作を

転作の方法には大きく分けて二つ、集団転作とグループ転作があります。

集団転作は、各集落内で話し合いを行い、団地化して栽培する方法です。一方のグループ転作は、一人ではできない集出荷などの問題を、数人のグループで取り組んで解決

しようというものです。集団転作では、各集落に割り当てられた転作面積の三分の二以上の面積を七十％以上の団地にまとめ、一〜二種類の作物をつくります。

当然のことながら、集落内での話し合いと合意が必要となります。そして、団地への土地提供者以外の水田保有者は、全面積に水稲をつくることになり、土地提供者者へその代償として協力を支払うこととなります。

これは、集落全体が協力して転作に参加したという意味をもつもので、互助制度の基本的な姿です。

農家がそれぞれに転作しても中途半端になり、農業所得の向上につながりませんが、転作は転作、米作は米作、とはっきり分けることにより、それぞれの所得がまとまって確保されるといえるのがこの制度の最大の利点といえます。

また、転作奨励補助金が加算されること。さらには集団的に同一作物を作ることによって規格のそろった生産物がまとまり、販売が有利になり栽培指導も重点的にできるため、産地として育てられることもあげられます。

づくりのために 次々と完成

昭和五十五年度の事業として、村が進めてきた各種の施設が次々に完成しました。本号ではまとめてその姿を紹介してみましよう。

労力節減と品質向上に期待 ○——五加茶工場の増改築

まず、トップを切って完成したのは、五加茶生産組合の加工場増改築工事です。

この工事は、県の補助金を受けて行った事業で、五加製茶工場の生葉貯蔵室を拡大し、生葉の自動搬入装置と管理装置を取り付けたもので、これにより生葉室内への持ち込みはコンベヤーで自動的に行われ、大幅な労力の節減と製茶品質の向上が期待できます。

この工場とあわせて、生葉室の二階に十二帖の和室が設けられ、役員会や組合員の研修などに利用されることになりました。

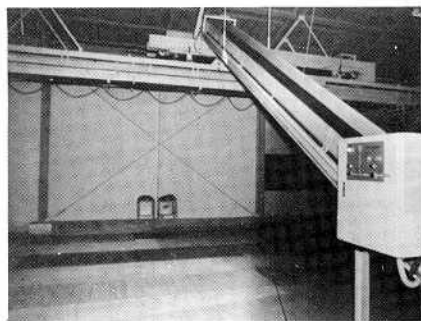
五加地区の茶業センターと

調理実習や大集会もできる ○——大明神地内の総合地域施設

第二次農業構造改善事業で、大明神地内に建設されていた総合地域施設も完成し、二月二十八日に竣工式が行われました。

この施設は、鉄骨二階建て二百五十九平方メートルで、内部は集出荷室、生活改善室、三十帖の和室、六帖・八帖の和室

して、今後の活用が楽しみです。



増改築により新設された五加茶工場の生葉自動搬入装置

などで構成され、多目的利用ができるよう工夫されています。

とくに生活改善室は、調理場と研修室がアコーデオンカーテンで仕切られ、必要に応じて十人前後の小集会から二十人前後の調理実習など、機能的に使い分けることができます。

ます。

二階の大集会室は、中央のふすまを開ければ三十帖の大和室となり、集会の規模に合わせて多目的な利用が可能です。

この施設の完成によって、大明神地区を中心とする東部地区全体の、生活と文化の向上に大きな期待が寄せられます。



大明神地内に完成した総合地域施設の全景。調理実習や大・小集会など多目的な利用ができる

流通の促進と 各種の施設

コミュニ
ニティ

夏秋野菜振興の拠点に

○—— 陰地の集出荷施設

越原保育園前には野菜集出荷場が完成し、五十六年度産の野菜から取り扱いをはじめることになりました。

建物の規模は、鉄骨平屋建て百三十五平方メートルで、村内で生産される夏秋ナスを主体と



小学校の統合により新しく生まれ変わった
越原山村広場の管理棟（3月6日撮影）

コイン点燈装置を備えました

○—— 五加・越原山村広場

小学校統合のあとを受けて、越原と五加の小学校跡地を運動広場に整備する工事が進められていましたが、これも三月二十日を工期として完成。四月からみなさんに利用していただけることになりました。

この工事は、第三期山村振興事業の山村広場施設整備事業によって進められていたもので、両広場ともに約四千平方メートルの運動場を整備し、管理棟、フェンス、遊園地などの付帯施設もつくられました。

運動場には照明装置が設置されており、夏季の夜間利用が大幅に見込まれますが、利用者の便を考慮してコイン点燈装置が備えられています。

利用希望者は、あらかじめ教育委員会か管理者に申し込んでコインを購入しておき、使用日に点燈装置へコインを投入すれば、一定時間照明が使用できる仕組みです。

管理棟には、休けい室、便所、体育器具庫、湯沸かし室があり、無線マイクの使える放送設備も備えられていますから、たとえば区民運動会など総合的な催しにも大いに利用してほしいものです。

とくに、水田の転作を促進しながら、稲にかわる新しい作物を育成するうえで大きな期待が寄せられています。

六月上旬から十一月上旬にかけて、ナスを中心とする夏秋野菜の出荷でにぎわう姿が待ち遠しいものです。

写真は、越原保育園前に完成した夏秋野菜の集出荷場。





完成した東白川小学校体育館の全景

できたぞ！デッカイ体育館



正コートもらくらくとれる



体育館の顔ともいえる北側玄関。
一般利用はここを使用する

東白川小学校体育館が2月末に完成しました。約 930平方メートルの広いフロア一部をはじめ、幅約14メートル、奥行き6メートル余りもあるステージ、卓球のできる2階のホール、放送室、シャワー室、更衣室などを完備。文字どおりデッカイ体育館のお目見えです。学校教育上の活用はもちろん、社会体育の分野でも利用度が高くなると予想されるこの体育館の全容を、写真を主体に紹介してみましよう。

村雲 秀隆 25歳（神付）



おくやみ
申しあげます

- 村雲 節也（上親田）
- 古田 やよい（粕本）
- 安江 正大（日向）
- 丹羽 典子（加子母村）
- 島倉 正孝（西洞）
- 安江 悦子（大口）
- 松岡 良典（日向）
- 齊木 外代（白川町）
- 野村 幸彦（久須見）
- 今井 恵子（陰地）



いっまでも
おしあわせに

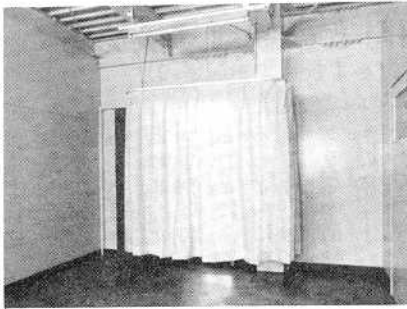
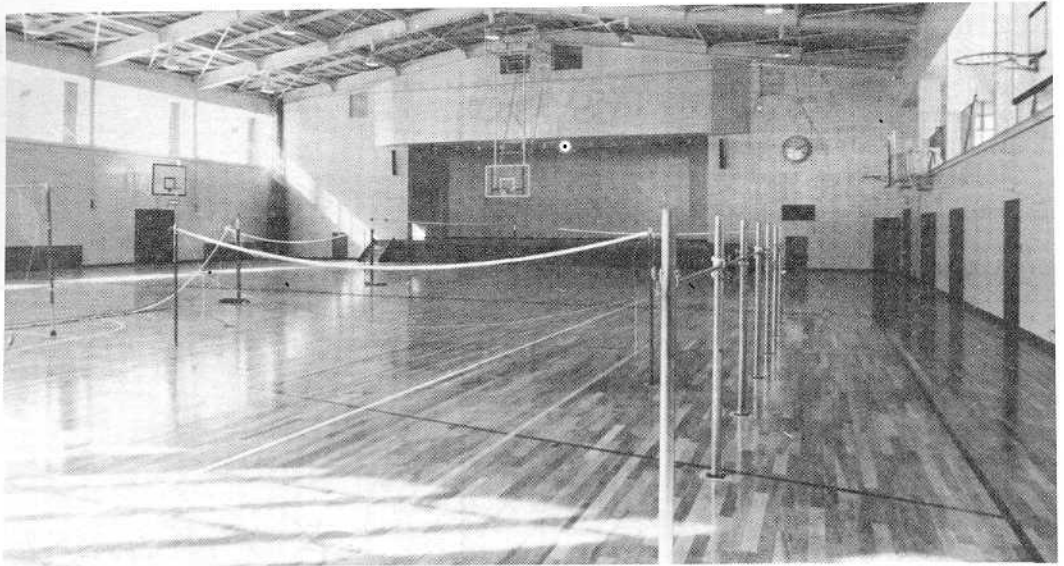
- （日向）青木 佳一（かよこ）
- 志げみ（二女）
- （下親田）安江 正徳（ただゆき）
- 澄江（長男）
- （中谷）小池 清（やすのぶ）
- 幸江（二男）
- （平）安江三四（めづみ）
- ゆみ（長女）
- 忠美



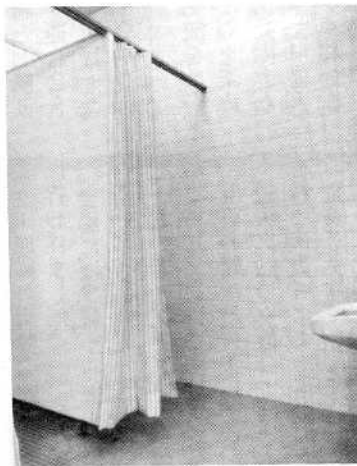
誕生おめでとう
ございます

■戸籍の窓 ■（二月）
（敬称略）

バスケットボールの正式コートをとっても両側は約五割ずつの空間ができるゆったりとしたフロアー部。約千人を収容することができる



ステージ横に設けられた放送室の内部。レコードプレーヤーなど放送施設一式を完備



外からも出入りできるプールと共用の更衣室(写真上)とシャワー室。シャワー室はふたつに区切られている



福寿帳

老後の支えとなる年金制度のしくみに、よりいっそうのご理解とご協力をお願いします。

国民年金の保険料が、この四月から一か月分四千五百円(旧三千七百七十円)に変わります。人口の老齢化にともなって、老齢年金の受給者が増え続けているのと、年金額が物価上昇などに合わせて、毎年増額されているため、給付のたしませをする国の負担額が大幅増加するため、今回保険料の引き上げが行われたものです。

■国民年金の保険料

四月から四千五百円に■

- ▽現金三万円—高木秀一(曲坂)
- 『東白川小学校へ』
- ▽灰ざら十個—桂川澄(陰地)
- ▽柱時計一個—大坪久美(平)
- ▽色ごい多数—山口稔(平)
- 『中央公民館図書室へ』
- ▽図書一冊—藤井茂樹(加舎尾)
- ▽同一冊—安江啓次(神付)▽
- 同二十二冊—三戸二一(宮代)

■善意の寄付■(敬称略)

『社会福祉費へ』

- 安江 むら 88歳(平)
- 小池 峯吉 90歳(中谷)
- 安江 いそ 81歳(宮代)
- 高木 一二 76歳(曲坂)

市民センター4階の大集会室で行われた講演のもよう



老ク連が交歓会

白川町との親ぼく深める

二月十七日、本村とお隣りの白川町老人クラブ連合会合同による交歓会が、村民センターで午前九時三十分から行われました。

この交歓会は、交流をはかることにより、親ぼくを深めるとともに相互の活動内容などに意見をのべあつて、老人クラブの活動をより実のあるものに。と、両町村の老人クラブ連合会が三年前から行っているものです。

第一回目は一昨年本村を会場に開かれ、昨年は白川町で、そしてことしは本村の村民セ

ンター四階の大集会室を会場に行われました。

会場には、村から五十四人白川町から十六人、あわせて七十人の老人クラブ連合会員が集まり、意見交換や懇親会で互いの親ぼくを深めました。過去二回の交歓会では、両町村の代表者による活動内容の発表が主体でしたが、ことしは講師としてお招きした、美濃加茂市社会福祉協議会常務理事・加藤勉先生の「心豊かな老人福祉のあり方」と題した講演を聴きました。

第八回村民親ぼく剣道大会

女子もみごとな剣さばき

村の体育協会主催による第八回村民親ぼく剣道大会が、二月二十二日、東白川中体育館で行われ、有段者から初心者まで約七十人の剣道愛好者らが参加し、熱戦を繰り広げました。

ことしの大会には、小学生も多数参加。面に付けた風船を割った者が勝ち」というルールで試合し、応援にかけつ

けた父兄のみなさんから、盛んな拍手を受けていました。

また、中学校は格技指導推進校の指定を受け、剣道をつりあげて推進しているところであつて、この日参加した女子生徒たちも男子顔負けの剣さばきをひろうしました。写真。

体を鍛えるとともに精神面を鍛練する意味でも意義が大きい——といわれる剣道。今



後ますます盛んになってほしいものです。

当日の成績は次のとおり

(敬称略)

- ▼中学生級位の部 ▲①桂川裕幸 ②安江治 ③今井伴睦
- ▼中学・一般男子初・二段の部 ▲①栗本直樹 ②安江貞人 ③今井好美
- ▼一般男子三段以上の部 ▲①佐橋正典 ②安江誠 ③福本周祐
- ▼小学生の部 ▲①安江一也 ②安江八城 ③古田俊哉
- ▼中学・一般女子の部 ▲①安江則子 ②沢木いづみ ③田口敦子
- ▼中学男子初心者部 ▲①安江高幸 ②安江克典 ③今井武志

ハンカチ、チリ紙を玄關に

新入園児や新一年生を毎朝送り出す家庭では、そのひととき、戦争のような騒ぎでしょう。外へ向かつて「ハンカチ、チリ紙は？」、「アッ、忘れた」ということも多いと思います。ゲタ箱やはき物入れの上などに小かごや小引出しなどを置いて、ハンカチ、チリ紙、マスク、校章の子備などを常備していたらいかがでしょう。タバコやマッチも一つか二つ入れておけばババも助かるでしょう。ハンカチはキチンとたたみ、チリ紙も必要量をすぐポケットに入れるようにたたんでおけば便利です。

素材型かん詰め好評

スイートコーン、マッシュルーム、まぐろのオイルづけなど味のついていない調理素材型のかん詰めが必要が伸びています。商品科学研究所が六人の主婦にこれらのかん詰め料理テストをもらったところ「生鮮のものには及ばないが、思っていたよりもおいしい」という結論がでたそうです。

テスト対象は八種目であり、里イモ、トマトなどは経済的、鶏は明らかに安上がりであったという結論がでています。

季節の話

季節の話



お母さんに見守られて歩行訓練
(広報通信1月号より)



みんなが参加し、平等に暮らせる社会を

ことは

国際障害者年

わが国では、約三百五十万人以上の人が心身に障害をもっているといわれています。障害者とは、病気とか事故などによって身体的・精神的な機能が損なわれ、自分自身では通常の個人生活や社会生活を完全に、または部分的に行えない人をいいます。

また、平均寿命が延び、高齢化社会が進むにつれて脳卒中の後遺症などによる障害者が増えるとともに、交通事故や労働災害などによる障害者が年々増加する傾向にあるようです。

わたしたちのだけれども障害者になる可能性も持っている——といっても言い過ぎではありません。

障害者問題は、単に障害をもつ人だけでなく、わたしたち一人ひとりが自分自身の問題として理解し、幅広い社会的な連帯意識をもって解決していかなければなりません。

昭和五十六年——ことは「国際障害者年」です。

昭和五十一年の国連総会で決定された世界的規模の行動で、テーマは、障害をもつ人の社会への「完全参加と平等」です。

「国際障害者年」だからといって、特別な感情や物質的なものを考える必要はありませんが、障害をもつ人に対する理解と関心を深め、みんなが参加し、みんなが平等に暮らせるよりよい社会づくりをしようという年——「国際障害者年」にあたり、みんな考えてみたいものです。

「血圧」といえば、一般的に危険視されるのは高血圧です。血圧が低いということはありません。でも、血圧の低い人には低いため症状があり、悩みでもあるようです。今回は低血圧について考えてみましょう。

低血圧の基準

年齢にかかわらず最高血圧が百未満の場合を低血圧と呼んでいます。

よく、年齢プラス九が正常値と考えて、それより低い場合を低血圧と考えている人があるようですが、これは間違いだといえます。

低血圧の症状

低血圧の人には一般的に▽朝のめざましが悪い▽立ちくらみをよく起こす▽体が疲れやすく根気がない▽頭痛もちが多い——などの症状があり、悩みのたねとな

暮らしと健康

低血圧

⑨

ついているようです。この原因は、なにかの病気がもとになる場合がありますが、ほとんど原因不明でいけば体質的なものである場合が多いといわれています。

体質の改善を

血圧の低い人は体質の改善をはかることによって、悩みを解消させる努力をしてみよう。それは……。

①毎日規則正しい生活をし、過労や睡眠不足にならない

②運動、とくに気がるにできる体操など積極的に行うよう心がける。

③栄養をじゅうぶんにとること。とくに、タンパク質と野菜、くだものなど。

④朝食をぬくことは禁物です。若い女性に朝食をとらない人がよくみられますが、食事は三食きちんと食べましょう。

ミニゲレンデで楽しむスキー

休日には家族連れも

ことは近年にない大雪で、東白川小学校の裏山にあるスロープにも約50センチの積雪があり、ミニゲレンデに早変わり。

こどもたちは放課後や土曜、日曜になるとスキーや雪遊びなどして楽しんでいます。

ときには、小さなこどもを連れた若い夫婦や村内のスキー愛好者らも訪れて約80名のゲレンデは活気に満ちあふれています。

2月7日の土曜日には、村内のスキー愛好者ら7人がでて、雪の少なくなったゲレンデに周囲の雪を入れて整備をしていました。

写真は、ミニゲレンデでスキーや雪遊びをすることどもたち。後方はゲレンデづくりの作業をするスキー愛好者ら。

(2月7日撮影)



暮らしのカレンダー

※献 血

・と き・ところ

4月2日 { 10:45~11:15
(五加公民館前)
正 午~1:30
(役 場 前)
2:00~3:00
(旧越原小上校舎)

※採血前には医師が血圧測定、血液比重検査などをし、無理な採血はしません。より多くのおみなさんのご協力をお願いします。

※小・中学校入学式・始業式

・と き 4月6日

※小学校へは51人、中学校へは59人が入学します。

※春の全国交通安全運動

・と き 4月6日~15日

※新入学期を迎え、小さなこどもたちが保育園や学校へ通います。ドライバーのみなさん、こどもを見たら徐行するなど、十分注意してください。

※三種混合予防接種(第1回)

・と き 4月15日

午後1:30~2:00(受付)

・ところ 東白川病院

・対象者 S52.4.16~54.3.31生まれの未接種者と追加。

※学童ツベルクリン反応とBCG接種

・と き ツ 反~4月22日

BCG~4月24日

・ところ 小・中学校

・対象者 小学校1・2年生
中学校2・3年生

※BCG接種は、ツ反の結果陰性の判定を受けた者が対象です。

※犬の登録と狂犬病予防注射

・と き 4月30日・5月1日

・ところ 村内 15会場

・費用 登録…1頭 1,500円
注射…1頭1回 1,500円

新刊紹介



題 雪の碑
作者 江夏美好

中央公民館図書室から

「下々の女」で一躍脚光を浴びた岐阜県の作家・江夏美好が長い歳月をかけ書き上げたのがこの「雪の碑」です。

「この雪の碑は、あくまでも小説です。けれど記録、もしくは伝記として書いた」と作者がいつているように、篠原無然（しのはら・ぶぜん）の若き生涯を克明に記してあります。

但馬（たんば）の漁村に生まれながら、26歳の 大正3年、精神修養を志して10年入山を決意し平湯、上宝で楽園飛驒の建設のため、種々の社会事業を企画実行しながら、10年目の大正13年、雪の安房峠で遭難死を遂げた悲運の人……篠原無然の強烈な個性と卓抜した精神力は、私たちにいろいろと教えてくれるものがあります。（啓）

お年寄りにも好まれますが、酒のさかなとしてもたいへん喜ばれるでしょう。

◇ 酔で①④の材料をあえて食べてください。

伝説と民話



—村誌編さん室だより

大蛇と半九郎

（第二回）

半九郎は落ち武者で、剣術の達人であるとともに鉄砲の名人でもあったので、早速承諾し急いで例の大木の近くまで来たが、とぎすずに遅く娘の姿はなく、大蛇だけがあらんとした眼で半九郎を見下しているのみだった。

半九郎はひるまず、ねらいを定めてズドンと一発見舞った。弾はみごとに命中し、大蛇は木から落ちて暴れのたちまわっていたのでそのまま下山した。

このとき大蛇からの出血はおびただしく、池が尾から流れ落ちる水を数日間真っ赤に染めていたという。

池が尾から少し離れたところに「蛇抜け」（じやぬけ）という場所があるが、ここは大蛇が撃たれて数日後大雨を降らして木曾山方面へ逃げ去ったとき山抜けがあり、それ以来この地名になったという。



の地名として残っている。蛇の去ったあとの池は、その後水はかれて土砂で埋まり今では昔池があったといわれるわずかなこん跡をとどめているにすぎない。

（おわり）

▽今月の料理△

わかめとささ身の
香り酢あえ — 四人分—

【材料】わかめ（もどしたのも）…百五十g、鶏ささ身…百g、キュウリ…中一本、酢…大さじ四杯、砂糖…少々、塩・粉わさび・レモン薄切り…二枚、酒…大さじ一杯

【作り方】①ささ身は、すじを抜いてさつと塩ゆでしてから手で細かくさいて、酒大さじ一杯をふりかけます。②わかめはもどしたものの百五十gを用意し、しんととって熱湯をかけてから二枚長さに切ります。③キュウリは塩をまぶして板ずりし、水洗いして小口から薄切りします。④レモンは六つ切りにします。⑤酢大さじ四杯、砂糖大さじ三杯、塩小さじ二分の一杯、化学調味料を合わせて粉わさびを練って加え、この合わせ酢で①④の材料をあえて食べてください。



東白川小6年
高井純子さん

わたしたちは、東白川村民です。先人の遺業に感謝し、誇りをもって明るく住みよい村をつくります。

一、気持ちのよいあいさつをかわし、あたたかい心のふれあいを大切にします。

一、健康なからだをつくり、明るい家庭を築きます。

一、働くことに喜びをもち、豊かな村づくりに励みます。

一、美しい自然を愛し、うるおいのある村を育てます。

一、教育を高め、かおり高い文化の村づくりに努力します。

みんなで実践 村民の誓い



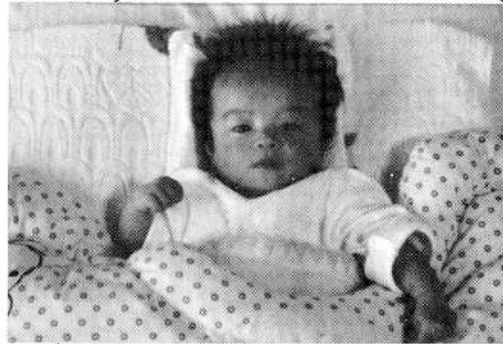
結婚ってなに？
青年らが学習会

2月27日の夜、神土青年団主催の教育講座が村民センターで開かれました。

この講座は年4回行う計画で、第1回目のこの日は、結婚をさぐろうというものでテーマは『おれについてこい』。結婚に関する知識を講義と実習で身につけようというもの。

年ごろの青年たちにとって身近かな問題でもあり、未来の新郎・新婦たちは真剣なまなざしで実習をしていました。

写真は、結納品の調べ方を実習する青年団員ら。村民センター婦人の部屋で



すくすく育て

今井由登(よしと)くん

55・9・14生まれ

大沢 今井章治・豊子さん長男



あなたの作品をお寄せください。

- ・初心者、とくに若い人たちの投稿を歓迎します。
- ・毎月末までに、神土山口良三宛に出してください。

春未だ根雪の山に伏す檜網かけ引けばよと起き来る
大明神 安江 香
 湯をかけて雪解かし居り湯の街の客のとだえし昼のひととき
飯山 安江 幸
 幾度か雪振りおとし杉の秀のみどり鋭く天に透き見ゆ
飯山 加藤 公一
 クリスチャンを友にもつ妻おのづから讚美歌うたへり我もうたへり
磐地 田口 圭二
 今にして対策なくば負債のみ抱へし過疎の村とならずや
日向 安江 憂児
 ためらばっせ行て来るせと出稼に発つ俵の車に春の雪舞ふ
西洞 村雲 伝三
 雪解水増えし小川の猫柳花芽むざんや護岸工事に
神付 早瀬 勇造
 如月の錆田の株は色さびて風掠め居り田の果てまでも
平 今井 惣十
 小銭手に孫の土産を選びつつ心急くなり出発時間
中谷 小池いちの
 幾年も簞司に秘めし思い出の赤き花柄も夜具と変りぬ
中谷 田口かづ子
 露のとう探して行けば枯草の中につぼみて緑匂へり
宮代 三戸 きり
 人一倍手のかりたる吾子ゆえか果立つ日近く不安つれり
宮代 今井 米子
 テレビ見て貰ひ泣きする我と居て妻は気丈か涙は見せぬ
宮代 古田 光男
 まだ温き卵数へつ持つ籠の意外に重し今朝は四十余个
下野 安江と志江
 減反に充てし沼田の一反歩お玉じやくしかいもりでも飼へ
神土 山川 冽
 老残の身を憚かれど今一度初心に帰り励まむとする

◎選者のねがい...この欄は『歌の広場』として新顔の登場を待っていますので、老、若、少年を問わず気軽に出詠してください。優先的に扱わせていただく方針です。

田口良三